

一般質問しました

ダイバーシティまじづくり

多様性の尊重の視点が浸透するためには積極的な取り組みが必要だ。若いころからの位置づけは、新たな発想を楽しむことが大切と話し、「ちがいは克服するものではなく価値あるもの」という考えを共有しながら、仙台商しいダイバーシティまじづくりを推進する。年齢に関わらず、多様性を学ぶような取り組みを今後とも広げていくと答えた。

地域少子化対策 重点推進交付金

結婚支援イベントの開催、若い世代のライフデザイン支援について、行政が少子化対策として異性のカッブルを奨励し、女性に対して妊娠出産のための健康づくりに誘うものとみて取れる。人生設計の押し付けを行わずに、若い世代の希望を後押しすることが行政の役割だと認識している。少子化の背景には、未婚や晩婚の増加、子育てに対する経済的な不安や、仕事との両立の難しさなどがあることから、子育てに関する切れ目のない支援をはじめ、雇用環境の充実、職場や家庭内のジェンダーギャップの解消など、各般の施策を総合的に推進していくとの答弁でした。

昨年12月29日から1月3日まで、急患センター、北部急患診療所、夜間休日子ども急患診療所の市内3カ所、この10年で最多の6840人が診察を受け、受付から診察まで4から5時間、処方、会計に4時間待ちなど災害級の状況だった。現場の声に耳を傾け、医者の確保など

初期救急医療体制、 市内休日夜間診療所

さらに発行2回までとしている再度任用上限の見直しと処遇改善を求め、今般、国の期間業務職員について、公募によらない再度任用回数の上限が撤廃されたことを受けて、制度趣旨を踏まえた適切な運用について、検討を進めている。正職員と同様の支給割合による勤続手当を支給するなど、改善を図ってきたと答えた。

おとな救急電話相談#7119チラシ

施設の併設など今後の対応策を聞き、高次の救急医療機関との隣接や併設は、駐車場等の施設や設備を活用できるだけでなく、患者の症状に応じて、速やかに高度な医療を提供できるなど有効な方策のひとつと認識している。検討を進めていきたいと答えた。

会計年度任用職員の処遇改善

本市の会計年度任用職員の状況や年収について聞き、今年度当初では、全市で5,331人、全職員に対する割合は約25%。概ね男性2割、女性8割、職種別では、事務補助と技能職がそれぞれ1,500人程度、各専門職が合わせて2,000人程度。経験年数5年目のモデル年取では、正職員は大学卒程度事務で約430万円、会計年度任用職員は勤務時間に応じて変動があるが、事務補助一般・フルタイムで約350万円となる。



おとな救急電話相談 #7119 医療電話相談は効果があるとしているが、本市での改善を求め、2023年の実績では仙台商市内から約1万6千件の相談があり、医療機関の適正受診や救急車の適正利用に一定の効果があった。更なる改善に向け取り組みしていく。(今年4月より、平日、夜間のみ対応が24時間365日の開設時間に拡充)

北部急患診療所は駐車場がないことや待合スペースなどが狭いなどの課題もある。二次救急医療体制の整った

あったかトーク

ひぐちのりこ 市議会ニュースレター

2025年 第52号 初夏号

- 立憲民主党仙台商市議員 幹事長
- 市民教育常任委員会
- DX推進 調査特別委員会
- 仙台商市民健康増進推進協議会委員
- 仙台商市・宮崎市広域行政協議会委員

子ども医療費助成拡大、 こどもいけん広場の設置

2025年第1回の定例会は2月7日開会、3月13日閉会の日程で開かれ、一般会計の新年度予算等計78件の議案審査が行われ、可決承認されました。本会議の冒頭、都市長が令和7年度の施政方針の所信表明を行い、3つの柱に新年度予算を配分したと説明しました。「多様なひとの力が生かされるまち」では、ダイバーシティ推進の強化、多文化共生推進、ヘルスケア向上推進、敬老乗車証対象交通機関拡大への実証実験、公共交通活性化等推進、物価高騰影響の低所得者支援等が計上されました。

「こどもたちが健やかに育つまち」では、こども、若者が仙台商市の施策等に対し、政策を決めるプロセスに主体的に参画できる「こどもいけん広場」の設置、屋内遊び場(西宮市旧市民プール跡地)基本計画策定、子ども医療費助成を15歳から18歳に拡大、初診料負担廃止、いじめ防止等対策推進、不登校児童生徒等支援、国際的な視野に立った教育の推進として小学3年から中学3年で英語を一貫して学ぶ市独自の新教科「国際探究科」設置、新たな学生フリーパス制度等が盛り込まれました。

「ひとが輝くまち」として、仙台商市パワウン推進、観光魅力創出、仙台商リーナ(現ゼビオアリーナ)開館記念事業、仙台商さと応援寄付推進、起業家・スタートアップ支援、定禅寺通りア・青葉山エリアのまちづくりなどに取り組むこととなりました。

過去最大の当初予算

新年度の一般会計予算は、対前年度比4.3%、276億円の増、6,757億円となり、過去最大で4年連続の更新となりました。



大規模改修を終えリニューアルオープンした
貝ヶ崎市民センター

新本庁舎建設工事の見学スペースが開設されました

3月17(月)から、新庁舎建設工事の様子を見学できるスペースが、仙台商市役所8階、市議会議場前ロビー(エシペーターを降りたら左側)に設けられました。工事の概要を記載したパネルも設置されており、メッセージも用意しています。市役所本庁舎は2027年11月末に完成する予定で、2028年の供用開始にむけて進めています。



工事の概要を記載したパネル



新庁舎建設工事の様子

TEL 022-398-8171
FAX 022-398-8172

〒980-0011
仙台商市青葉区上杉3丁目 9-31
プリマウェーブ101

お問合せは
こちら

くわしくは公式HPへ



東奔西走！皆さんの声を聴いて、市政へ！

1/21、2/21、4/21 市民教育常任委員会で質問

1月21日は、戦後80年を迎えるにあたっての戦災復興の取り組みや平和行政の推進について質問し、市民団体や市内の大学とも連携した企画展示などを検討している。これまで築いてきたネットワークも活用し、市民や各種団体の協力のもと、戦争の悲惨さや平和の大切さを次の世代へと継承していきたいと答えた。

2月21日は仙台市立高等学校のスクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーへの相談内容およびさらなる充実に向けてについて聞き、主な相談内容は「友人関係」「心身の健康・保健」「学業・進路」となっている。2025年度の配置について、スクールカウンセラーは従来と同様だが、スクールソーシャルワーカーについては仙台市立高校と仙台工業定時制のみだった配置を拡充し、全ての学校をカバーする体制と答えた。配置充実に向けて国に対して引き続き要望していくと答えた。

4月21日は「不向き性」によって高校教員が逮捕された事案について、生徒および教職員の心のケアを求め、性暴力等の防止に関して、生徒へのいのちの安全教育の状況および教職員の学び直しについて質問した。性暴力の根拠にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、思春期の心の変化や性行動への向き合い方、メディア等を通して性に関する正確な情報に接するリスク等について、児童生徒の発達段階に応じ学習している、時代の変化に伴い、授業内容だけでなく、教員自身の考え方や価値観を更新していくことも必要であり、ハラス

メント研修などに、いのちの安全、全教育等の要素を反映させ、

学びなおしの機会の確保に努めているとの答弁でした。4月に全館展示リニューアルとなった仙台市科学館でのコンセプトなどを聞き、「ふれる科学、たのむ科学」をコンセプトに先端の科学技術や知見を取り入れた参加体験型の展示物や実験装置に一新している。子どもから大人まで科学に興味をもってもらえるような社会教育施設の一つであると自負しているとの答弁がありました。リニューアルとともに、科学館入り口に仙台ゆかりの科学者5名の「仙台の発明家」展示が始まりましたが、すべて男性だったことから女性に関する展示についても求め、仙台ゆかりの科学者の紹介を通じて科学に興味を持ってもらえよう、と提案のあったSTEM(科学・技術・工学・数学)分野での活躍する女性について今後も今後、展示の充実を図る中で検討していきたいと答えていると答えた。



全館の展示がリニューアルされた科学館入り口

科学館に展示されている「発明家」展示はすべて男性

2/27 予算等審査特別委員会に質疑しました。

食料アレルギー表示(現在特定原材料8品目、特定原材料に準ずるもの20品目)の啓発について聞き、これまで対象品目の改定が6回行われているが、都府県事業者等へ通知や指導を行っている。今後対象品目の追加の動きがあることから制度に合った適切な対応を行うと答えた。

市民の健康づくりの推進に寄与するためPHR(パーソナルヘルスレコード、個人の健康結果などの保健医療情報)の活用について質問し、本市はメタボリックシンドローム該当者・予備群が多い状況が続いている。個人の健康状態やライフスタイル等に合わせた健康づくりが必要であり、来年度も健康的な食生活の実践と身体活動量の増加が重要な課題であり、多くの市民の方に健康づくりに資するものになるよう検討すると答えた。

本市では血圧について所見がある人が男女とも4割程度となっており、高血圧と高い関連性のあるナトリウムとカリウムの比(ナトリウム比)が注目されているが、取り組み内容について質問し、さらに専門職の活用も求められていることについて、原中のナトリウム比を低くすることが循環器予防に有効とされている。これまで健康増進センターの減塩講座などで測定を行っていたが、各区役所保健福祉センターでの測定を開始し、今後さらに測定機を拡充し、その際、管理栄養士から食事改善のアドバイスを受けることが有効とされており、測定結果と合わせて栄養指導などを実施していく予定であると答えた。

その他、各区役所での調理室の活用推進、保健師、管理栄養士等の専門職が持つ知見、技術を用いた保健指導へのメリットや効果の啓発についての答弁もありました。

【ひくちのり市議会ニュースター】を待たされている状況です。発行部の情報不足から、すでに「なり」になられた方や所属された方へお断りさせていただきます。ご迷惑をおかけすることもおそれます。その前に情報をお寄せくださるようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤りや訂正がございましたらお知らせください。お問い合わせ先は、お断り申し上げます。

3/4 百年の杜づくり推進について質疑

杜の郭を模倣する本市での街路樹は緑の根幹をなすものとして公園、道路行政の協力の下、市民協働で行ってきた。街路樹更新計画に基づき間引き、撤去を10年間で128路線を対象として行っています。内容と地域の意見反映について聞き、計画は課題のある路線を更新するために策定し、病害虫被害のある路線など維持管理上の課題を抱えているところ、街路樹の持つ機能をなるべく維持しながら安全な道路空間の確保を行うため、間



新緑の仙台市街地

引きや植え替え、撤去を行っている。意見を伺いながら工事を進めていると答えた。

緑行政における技術の継承と、民間も含めた緑に対する技術の啓発について質問し、毎年開催されている選定技術のみならず仙台の緑を守っていく理念など意図の共有を図っているとの回答でした。緑と人の共生のためにも現在職員0.7%不足である本市選定技術の確保および会派として主張している技術職の採用再開についても求めました。

3/15 Voters Cafe in 仙台に参加

仙台市選挙管理委員会などが主催する「若者と議員の交流会、Voters Cafe in 仙台2025」に参加しました。これまで3回行われており、今回は仙台市議10名と高校生以上の20代の若者30名が参加。議員トークセッション、「よりよい社会にするためにできることは？」をテーマにグループに分かれて仙台市の予算配分や、どの施策を優先させようかなどを話し合いました。



Voters Cafe in 仙台2025
～若者と議員の交流会～
仙台市選挙管理委員会
NPO法人 DAKKO
政治について向き合うきっかけを生み出すイベントVoters Cafe

2/4 「除雪車の出動状況」が仙台市HPに掲載開始

昨年の予算等審査特別委員会(2024年3月4日)で、「除雪状況」についての広報を求めたことにより実現となったものです。仙台市での除雪車の出動は、基盤気象状況や路面状況を総合的に勘案し、おもに都心部では5センチメートルを超える積雪深のおそれがある場合、それ以外の地区では10センチメートルを超えるおそれがある場合には除雪作業の実施が検討されます。実際の状況については仙台市公式HPトップから「除雪車の出動状況」を検索してください。



除雪作業の出動エリア(仙台市HPより引用)

主な活動日誌

1月21日	市民教育常任委員会	貝ヶ森市民センター・リニューアルオープンイベント
1月20日～24日	学校給食フェア	市民教育常任委員会
1月27日	環境教育に關して東京都港区視察	フェミニスト議員連盟総会・パワアアップセミナー
2月7日～3月13日	仙台市議会第1回定例会	市民教育常任委員会
3月8日	仙台防災未来フォーラム	DX推進 調査特別委員会
3月9日	仙台市立寒沢小学校閉校式	これからの主な予定
3月11日	東日本大震災 仙台市追悼式	仙台市衛生研究所新庁舎内覧会
3月21日	本庁舎建替事業見学会	仙台市議会第2回定例会
4月16日	DX推進 調査特別委員会	仙台市・富谷市広域行政協議会総会

4月19日